

報道機関各位

(プレスリリース)

2016年9月21日

公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院

公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター

ベトナム（ダナン病院）で日本（北野病院、先端医療振興財団）の支援のもと、

脊髄損傷の再生医療を開始

— 骨髄単核球を用いた脊髄損傷に対する第1-2相試験 —

ダナン病院（Da Nang Hospital：ベトナム ダナン市）が日本の公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院（大阪市、以下、北野病院）と公益財団法人 先端医療振興財団 臨床研究情報センター（神戸市、以下、TRI）の支援を受けて、自己骨髄単核球を用いた脊髄損傷再生医療の臨床試験を平成28年9月20日に開始した。

ベトナムはバイクなどの交通事故・高所からの転落による脊髄損傷の頻度が高い国でダナン市（人口104万人：2015年）にあるダナン病院では年間約500人の脊髄損傷患者が運び込まれる。ダナン病院と北野病院、TRIは、脊髄損傷治療法を確立するため共同研究契約を結び、2015年11月24日に調印式を行った。この治療法は北野病院形成外科の鈴木義久医師が長年開発に取り組んできたもので、自己の骨髄液から遠心分離で単核球を分離し脳脊髄液内に移植するものである。

ダナン病院 脳神経外科医のNgoc Ba Nguyen（ゴク・バー・グエン）副院長らが中心となり医療体制を整備し、2016年5月30日にベトナム社会主義共和国 保健省バイオメディカル研究道徳問題評価委員会の承認を得ることができた。

北野病院の鈴木義久医師のチームはダナン病院に技術移転し、医療の指導や細胞分離機器の整備等を行った。また、TRIはプロジェクトマネジメント支援やデータセンター業務支援、基盤整備を行った。そして、2016年9月20日に臨床試験（PI—II試験）の第1例目の細胞移植を実施した。患者は交通事故により頸髄を損傷し完全麻痺となった40代男性である。今後、2018年12月31日までに30症例に対して臨床試験を実施する予定である。

【公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院 形成外科部長 鈴木義久医師からのメッセージ】

脊髄損傷の発生頻度は途上国で高い。本法は細胞を培養する必要がなく高額な設備がいらないので、途上国でも実施可能な治療法である。この共同研究を通してベトナムに臨床研究のすめ方を学習してもらい、将来はベトナム発の医療技術が生まれることを期待したい。

図1. 共同研究契約の調印式



ダナン病院での調印式

写真前列左より 北野病院 病院長 藤井 信吾 先生/ダナン病院 院長 Tran Ngoc Thanh 先生/ TRI 尾前 薫

写真後列左 北野病院 形成外科部長 鈴木 義久 先生

※本契約締結は現地メディアでも多数紹介されました。

お問合せ先

公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院

企画調査課 近記

e-mail : kikaku@kitano-hp.or.jp

Tel: 06-6312-1221 FAX: 06-6361-0588

公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター

企画・広報部 北浦、天辰、尾西

e-mail : tri-pr@tri-kobe.org

Tel: 078-303-9095 FAX: 078-306-1012